

ニライカナイ / 福助

w/m : 福地信

ああ 僕が望むのは 心の平和だ
僕らは何と争っているんだろう

何かと不安定な上に成り立っている
僕らの世界は 少しの弱さも許されないようで
心と心が折り重なっていて 弱者を踏みつける
殺しあう世界 ぶつかり合う世界で

飛べない鳥達は いつかはばたく為に羽を捨てないのだろう
僕らは何を残せばいいんだろう 形あるものはやがて消えてしまうから

そう 僕が残すのは心の平和だ
僕らは何と争っているんだろう
ああ明日も生きていく僕らの心は
同じ方を向いて歩いているのに

雨が降りやまない 全てが平等に雨に打たれてる
全てに平等な この雨を「愛」と呼ぼう

殺しあう世界じゃない 奪う世界でもない
誰もが望む世界を
降り注ぐ雨感じていられる
心が今僕らにはあるからさ

生きていく 負けないよ
作っていく 望む未来を

< 曲紹介 >

沖縄の言葉で、理想郷とかそういったものを「ニライカナイ」と呼びます。自分が一番望むモノ、理想とする世界。この曲も母がかなり影響しています。まず曲名が沖縄の言葉ですが、母が沖縄の人。最後の歌詞、「負けないよ」には、母に負けなくらい良い世界を作る、って意味と今の世の中に負けたく無い気持ちが入っています。ギスギスした人間関係が多いと感じる、自分が生きる小さな世界。そんな小さな世界でも、みんな戦ってる。争ってる。国単位でも、戦争で戦っている。争ってる。ちょうど、今のご時世と重なりますね。僕は毎年、七夕の願いには「心の平和」と書いています。心ってやっぱり、宝石みたいに綺麗で壊れやすい。お互いそれに気付かないのは凄く悲しい。自分の心だけじゃなく、相手の、綺麗で壊れやすい心を見つめられたなら…。想いが詰まっています。楽曲としては色々チャレンジしていて、後半辺りはリズムが沢山変化したり。バンドでやったらいいんじゃない？みたいな事をやっていて、バンド経験ある方ならわかるはず。バンド経験がない方はどう感じるのか…。自分なりに、真っ直ぐな言葉を意識して作った曲。少しでも皆様の心に響きますように。